

のべおか そよう たかちほ
九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂)

第3回 説明資料

平成30年2月16日

国土交通省 九州地方整備局

本日、ご審議頂く内容

1. 前回までの審議内容	・ ・ ・	1
2. 第2回意見聴取の概要	・ ・ ・	6
3. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・	13
4. 対応方針（案）の検討	・ ・ ・	21
5. 自治体への意見照会	・ ・ ・	25
6. 対応方針（案）まとめ	・ ・ ・	28



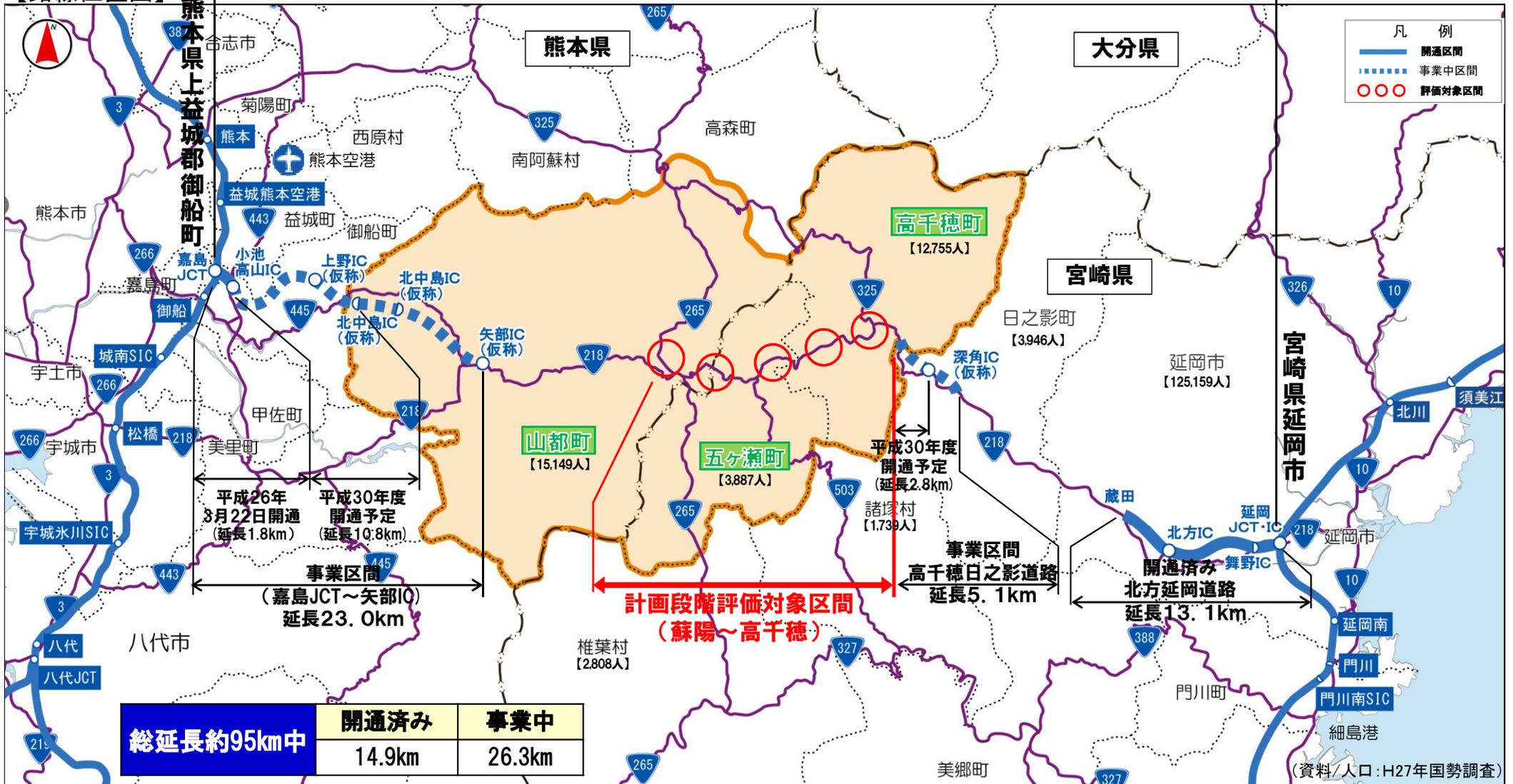
1. 前回までの審議内容

1-1. 評価対象区間

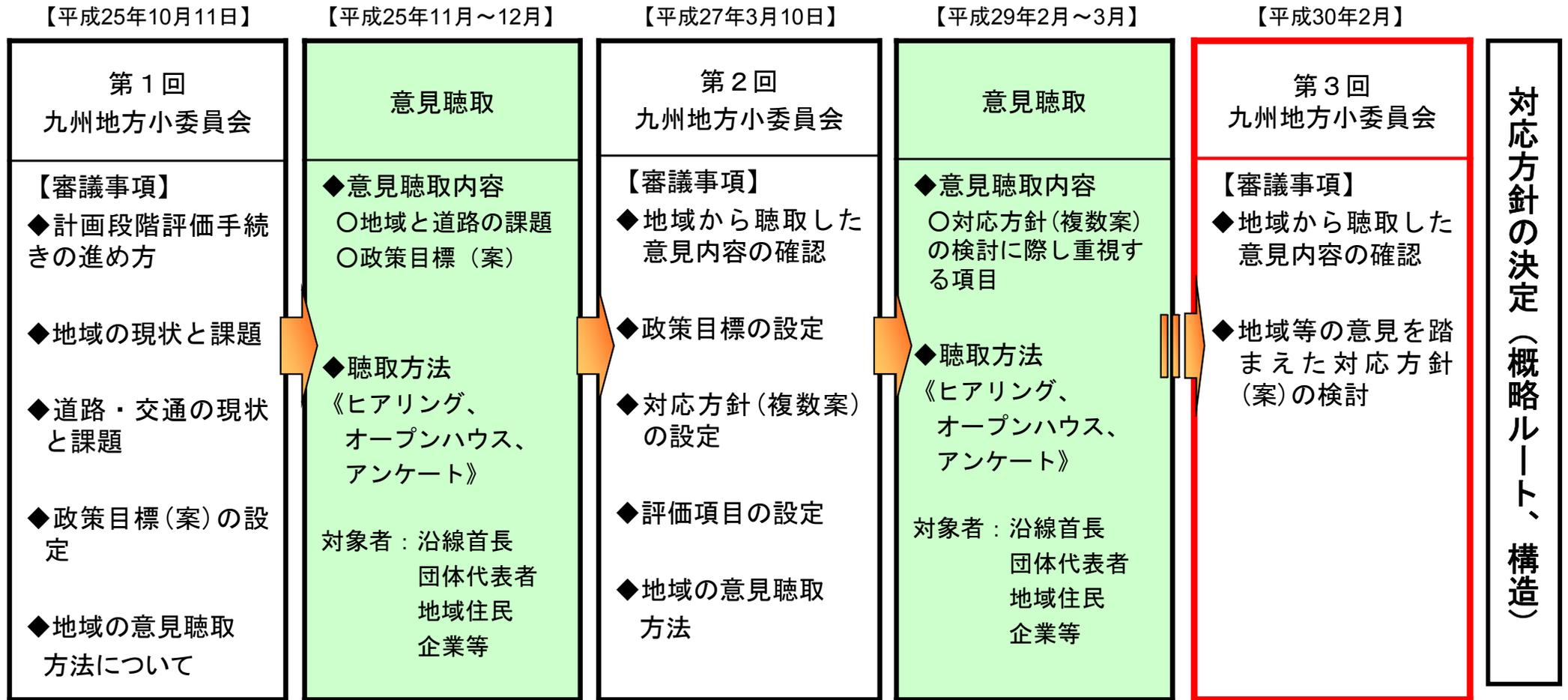
- 当該区間は、九州横断軸の一部を担う九州横断自動車道延岡線の一部。
- 沿線の熊本県山都町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町は九州の中央に位置し、県庁所在地の熊本市まで約60km、宮崎県北の拠点都市延岡市まで50kmに位置する。

九州横断自動車道延岡線 L=約95km

【路線位置図】



1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地 方 小 委 員 会

1-3. 前回審議内容＜第5回九州地方小委員会(2回目)＞

●社会資本整備審議会 道路分科会 第5回九州地方小委員会（2回目）の概要

■実施日：平成27年3月10日（火）開催

■主な議題

- | | |
|------------------|------------|
| ①地域から聴取した意見内容の確認 | ②政策目標の設定 |
| ③複数案の設定 | ④評価項目の設定 |
| ⑤複数案の比較評価 | ⑥地域の意見聴取方法 |

●第5回九州地方小委員会（2回目）での主な指摘事項と対応方針

指摘事項	対応方針				
<p>・観光における評価は、沿線地域だけでなく九州全域の周遊観光による影響等を評価すべきであり、評価表には地点名等の具体的な記載を行うとともに、意見聴取にあたっては、実際の道路利用者を意識して調査を実施してもらいたい。</p>	<p>【対応①】</p> <p>・評価表における観光に関する記載にあたっては、九州を代表する著名な地点名(施設名)を具体的に記載し、各々を周遊する際の所要時間短縮が評価軸となっていることがわかるよう対応した。</p> <table border="0"> <tr> <td>【修正前(例)】</td> <td>【修正後(例)】</td> </tr> <tr> <td>・移動時間の短縮が大きい</td> <td>阿蘇→高千穂 高千穂→五ヶ瀬ワイナリー 五ヶ瀬ワイナリー→通潤橋</td> </tr> </table> <p>【対応②】</p> <p>・意見聴取する対象企業については、過年度(H24)実施の車籍地調査(国道218号断面)から、広域的な利用を含め現在、実際に利用が確認される事業者を追加した。(3社※1追加)</p> <p>・更に、当該区間の道路整備がなされた場合に、新たに利用が見込まれる将来の利用者※も意見聴取の対象として追加した。(39社※2追加)</p> <p>※将来の利用者は、道路整備に伴う時間短縮等により、新たに当該区間を通行すると想定される地域※3を抽出。 ※1 トラック協会、タクシー協会(福岡県、大分県) ※2 JTB、アサヒビール、大王製紙など ※3 福岡、大分、鹿児島、広島、愛媛、東京など</p>	【修正前(例)】	【修正後(例)】	・移動時間の短縮が大きい	阿蘇→高千穂 高千穂→五ヶ瀬ワイナリー 五ヶ瀬ワイナリー→通潤橋
【修正前(例)】	【修正後(例)】				
・移動時間の短縮が大きい	阿蘇→高千穂 高千穂→五ヶ瀬ワイナリー 五ヶ瀬ワイナリー→通潤橋				

1-4. 政策目標

■ 政策目標の設定

■ 地域課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保
2. 熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上
3. 熊本市・延岡市への移動の速達性・安全性の向上による雇用・定住の促進
4. 歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援
5. 走行性、速達性向上による産業活動の支援

■ 対策案の検討

【防 災】

災害時の信頼性が高く、主要な集落とのアクセス性を確保し、信頼性の高いネットワークを構築

【医 療】

熊本市や延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上により緊急医療体制を支援

【雇用・定住】

熊本市・延岡市への所要時間の短縮、安全性の向上による雇用・定住条件の改善

【観 光】

九州中央地域の多様な観光資源間の回遊性向上により、周辺観光地と一体となった観光振興の支援

【産 業】

産業拠点間の移動時間短縮、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動を支援

○ 対策案を検討する上での配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用】

【経済性への配慮】

基本コンセプト：災害時における地域とのアクセス性を確保するとともに、熊本市・延岡市への速達性・走行性の向上を図り、雇用・定住の促進や観光振興、産業の活性化を目指す。

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討



2. 第2回意見聴取の概要

2-1. 第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

■意見聴取期間

平成29年 2月17日（金）～平成29年 3月31日（金）

■意見聴取の実施状況

対 象	意見聴取方法	実 施 期 間	対象の詳細	回 収 状 況	
自治体	ヒアリング	平成29年2月17日（金） ～3月16日（木）	くもと みやざき やまとちょう ごかせちょう たかちほちょう ひのかげちょう くもとし 熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町、熊本市、 のべおかし みやざきし ひゆうがし かどがわちょう みさとちょう しいぼそん もろつかそん かしまち 延岡市、宮崎市、日向市、門川町、美郷町、椎葉村、諸塚村、嘉島町、 ましきまち みふねまち こうさまち 益城町、御船町、甲佐町	18自治体	全118票
団体等			トラック協会・バス協会・タクシー協会（福岡県、熊本県、宮崎県、大分県）、商工会議所（延岡市、日向市、都農町）、熊本県医師会、消防署、警察署、農協、漁協、観光協会等 38団体	30団体	
企 業			製造業、卸売・小売業、土木建設業、運送業、宿泊・飲食サービス業、教育・医療・福祉 など 沿線：97社（山都、五ヶ瀬、高千穂） 広域：39社（福岡、大分、鹿児島、広島、愛媛、東京など）	88社	
地域住民	アンケート	平成29年2月17日（金） ～3月31日（金）	山都町（約6,000戸） 五ヶ瀬町（約1,300戸） 高千穂町（約5,200戸） } 合計（約12,500戸）	回答数：7,467票	全8,166票
	オープンハウス	【平日】：2日 平成29年3月1日（水） 平成29年3月3日（金） 【休日】：2日 平成29年3月4日（土） 平成29年3月5日（日）	5箇所（山都町1箇所、五ヶ瀬町2箇所、高千穂町2箇所）	意見聴取数：595票	
広域的な道路利用者	留置き	平成29年3月9日（木） ～3月31日（金）	道の駅、SA、観光施設など 13箇所 （熊本県、宮崎県内）	回答数：104票	

【設問事項】

※ 着色箇所は第2回委員会の意見を踏まえ追加した団体等

○九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂間）の「対策案（ルート帯案）を検討する際に重視すべき事項」および「インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に重視すべき事項」に対する意見を伺う

2-2. 第2回意見聴取の実施状況 ～ヒアリング～

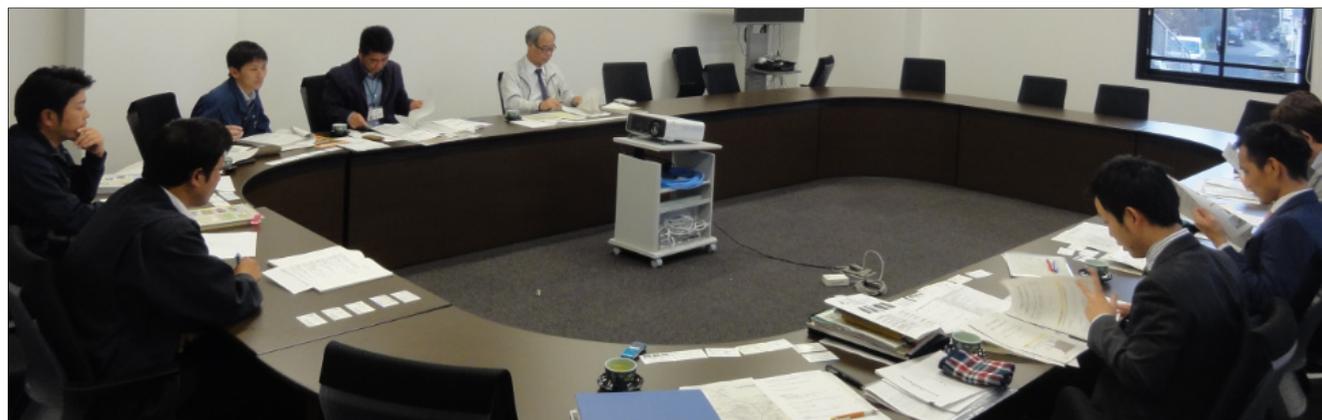
■ヒアリング実施状況



【熊本県トラック協会】



【ヤマト運輸 熊本主管支店】



【山都町役場企画政策課、建設課】

■対 象

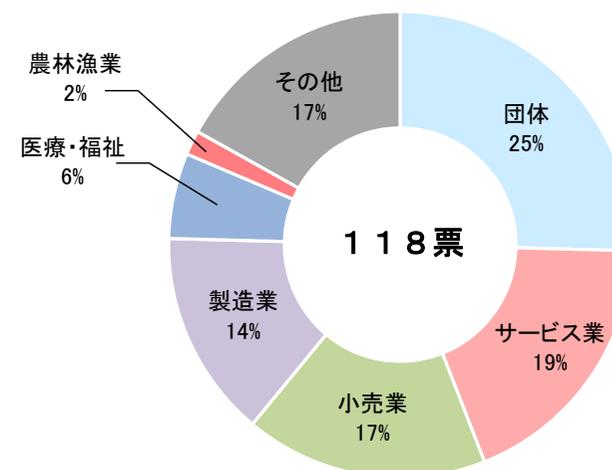
自治体：（18自治体）

団 体：（30団体）

企 業：（88社）

全 118票

■ヒアリング実施団体・企業の内訳



2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～ 住民アンケート・オープンハウス・留置き ～

■ 住民アンケート実施内容

■ 住民アンケート調査票



■ 住民アンケート回収状況



対 象：地域住民
 配 布：山都町約6,000戸、五ヶ瀬町約1,300戸、高千穂町約5,200戸
 意見聴取数：7,467票

7. アンケート調査の内容と留意事項等について

■ アンケート対象者

- ・本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方で、18歳以上の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願い致します。
- ・世帯主の方はもちろんですが、幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力をお願いし、アンケート回答用「返信はがき」を4枚同封させて頂いております。
- ・なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、裏表紙のアンケート問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い致します。

■ 回答の提出方法及び締め切り

- ・同封しています「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに切手を貼らず、平成29年3月10日（金）までに投函してください。

(はがきの表面に記入)

質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項

※P4・P5ページに示した「対策案(複数のルート帯)の検討及び比較表」を参考にお答えください。

対策案(ルート帯案)を検討する際に、右記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか？①～⑪に挙げる11の事項の重要性を5段階で評価して下さい。

- ①災害時にも代替路として利用できること
- ②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること
- ③熊本市・延岡市へ早く安全に行けること
- ④観光地間の移動時間が短いこと
- ⑤産業拠点間の移動時間が短いこと
- ⑥生活環境(騒音など)への影響が少ないこと
- ⑦自然環境(動植物など)への影響が少ないこと
- ⑧家屋移転が少ないこと
- ⑨沿道からの利用が便利なこと
- ⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること
- ⑪整備費用が安いこと

<記入例>

- ※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」
- ※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

(はがきの裏面に記入)

質問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項

インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、右記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか？①～⑤に挙げる5つの事項の重要性を5段階で評価して下さい。

- ①集落等から安全かつ円滑にアクセスすること
- ②救急医療機関等との連絡による救急医療体制の支援
- ③熊本市・延岡市への接続性向上による雇用・定住の支援
- ④主要な観光施設等との連絡による観光振興
- ⑤物流施設等との連絡による産業活動の支援

<記入例>

- ※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」
- ※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

質問3 あなた自身のことについてお尋ねします。

- 【質問3-1】 あなたの年代は？
10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
- 【質問3-2】 あなたの性別は？
男 女
- 【質問3-3】 あなたの職業は？
会社員・公務員 パート・アルバイト 農業 自営業
主婦 学生 無職 その他
- 【質問3-4】 あなたの住まいはどちらですか？
山都町 五ヶ瀬町 高千穂町
その他 []

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～ 住民アンケート・オープンハウス・留置き ～

■ オープンハウス実施状況

<平日>



【平成29年3月1日（水） 山都町
山都町役場蘇陽支所】



【平成29年3月1日（水） 五ヶ瀬町
五ヶ瀬町国民健康保険病院】



【平成29年3月3日（金） 高千穂町
高千穂町国民健康保険病院】

<休日>



【平成29年3月4日（土） 五ヶ瀬町
特産センター五ヶ瀬】



【平成29年3月4日（土） 高千穂町
Aコープ高千穂】

対 象：地域住民
会 場：山都町 1 箇所、五ヶ瀬町 2 箇所、
高千穂町 2 箇所
意見聴取数：595票

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～ 住民アンケート・オープンハウス・留置き ～

■ アンケート回収ボックスの設置

対 象：広域的な道路利用者
 設置箇所：道の駅、SA、観光施設など13箇所※
 意見聴取数：104票

<留め置き>



道の駅北川はゆま



道の駅よっちみろ屋



<ポスター>

九州横断自動車道 延岡線(蘇陽～高千穂)
 第2回意見聴取 アンケート調査

1. 今回お聞きしたい道路の計画区間
 今日お聞きしたい道路の計画区間は、九州横断自動車道延岡線のうち山都町から高千穂町間です。

2. 設定した5つの目標
 これまでみなさまから頂いたご意見を踏まえ、地域の課題を解決するための5つの目標を設定しました。

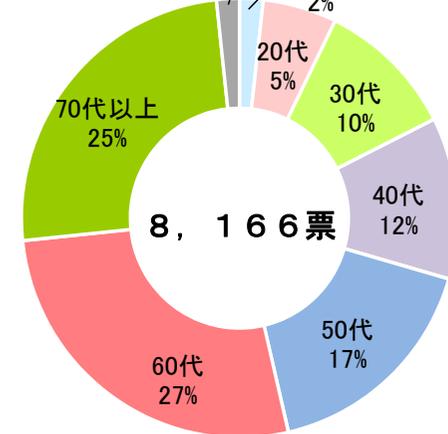
3. 複数案の検討ルート帯の概要
 地域の課題を解決(5つの目標を達成)する対策案として、以下の3つのルート案を検討しています。

4. 今回みなさまにお聞きしたいこと
 九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂)について、道路の通過位置や今ある道路との連絡位置(インターチェンジ)を決めていく上で重視すべき事項を、みなさまにお伺いしております。より良い計画の策定に向け、アンケートへのご協力をお願い致します。

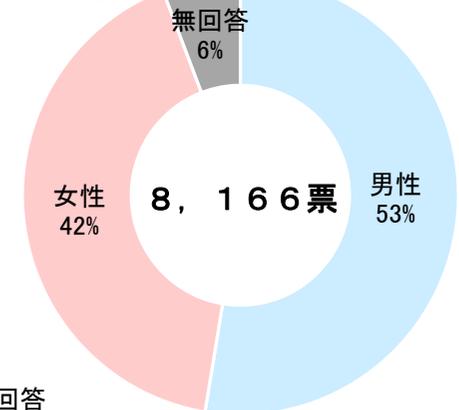
5. アンケート問い合わせ先
 ○国土交通省 九州地方整備局熊本河川国道事務所 調査第二課 TEL:096-382-1242
 ○国土交通省 九州地方整備局福岡河川国道事務所 調査第二課 TEL:0982-31-1155

■ 回答者の内訳

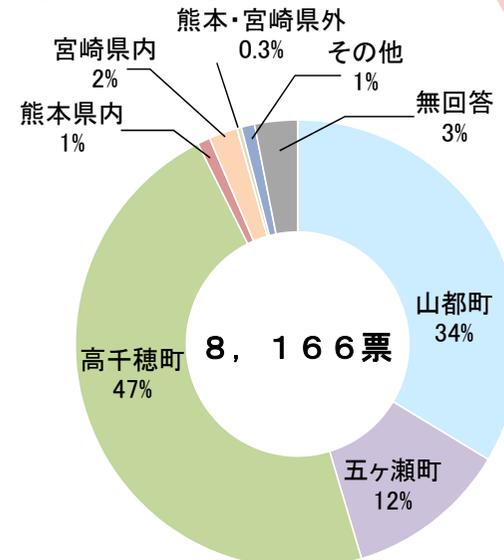
【年代】



【性別】



【居住地】



※ 道の駅(宇土マリーナ、宇城、竜北、北浦、北川はゆま、日向、つの、高千穂、北方よっちみろ屋)
 SA(北熊本、宮原、川南)
 観光施設(特産センター五ヶ瀬) 計13箇所

2-4. 第2回意見聴取の実施状況 ～ 広報 ～

- ①ホームページ : 国土交通省熊本河川国道事務所および延岡河川国道事務所ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を開設
- ②広報チラシ : 広報チラシを全世帯に配布（熊本県：山都町、宮崎県：五ヶ瀬町、高千穂町）
- ③地域への情報提供 : 防災無線を活用し、各家庭へ意見聴取の協力依頼についてアナウンスを実施（山都町、五ヶ瀬町、高千穂町）道の駅等（全13箇所）においてポスター掲示並びにアンケート票と回収ボックスを設置

①ホームページ（H29.2.16 記者発表）

■国土交通省延岡河川国道事務所



③地域への情報提供

■防災無線による協力依頼



<防災無線放送の実施日程>

日程	H29.2.28, H29.3.1
時刻	朝:昼:夜の定時放送内
内容	全戸配布アンケートへの協力依頼、オープンハウスの周知

②広報チラシ



◆ポスター掲示



五ヶ瀬町 五ヶ瀬町国民健康保険病院



山都町 山都町役場蘇陽支所



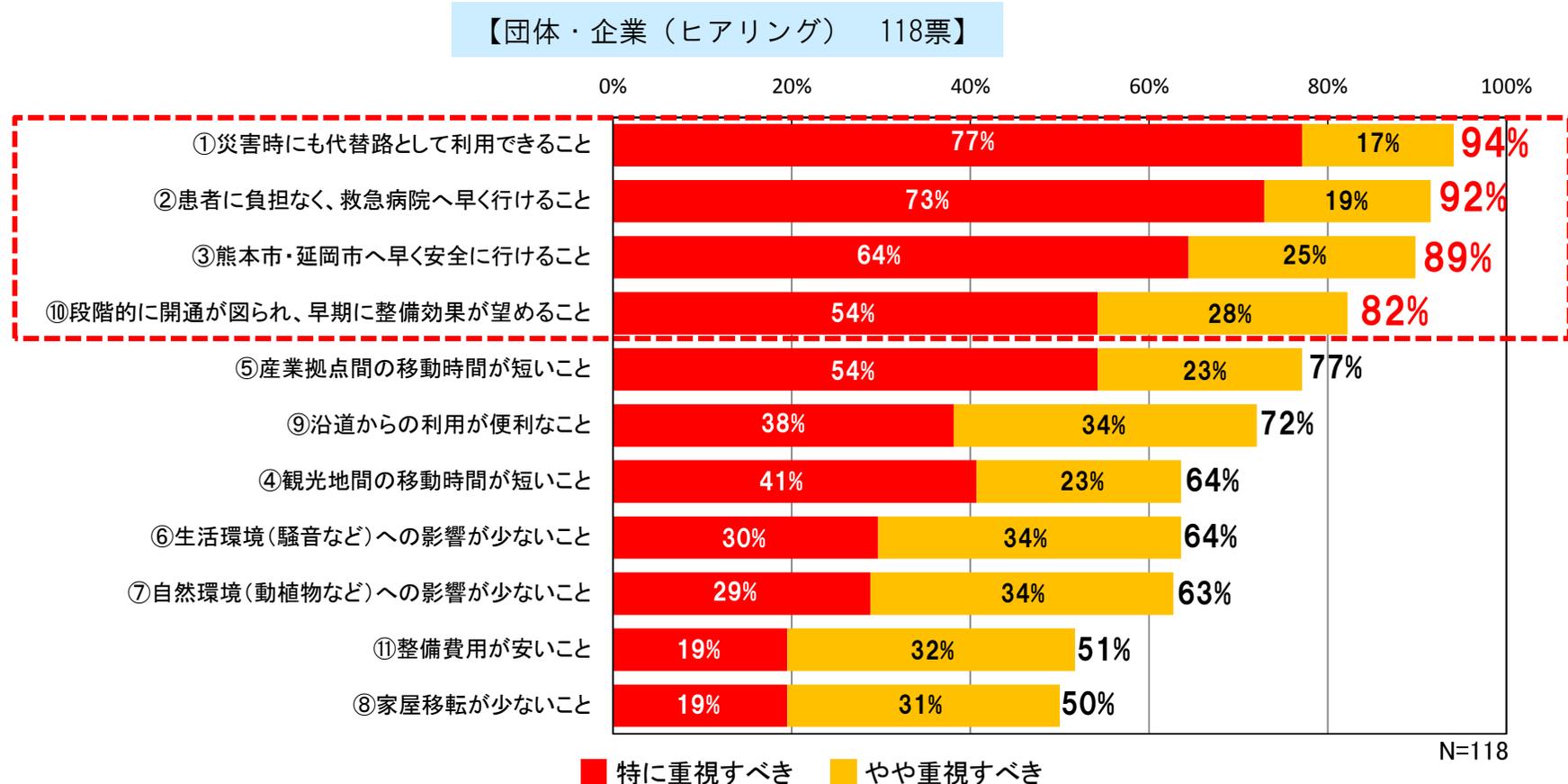
3. 第2回意見聴取の結果

3-1. 第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■ 団体・企業（ヒアリング）

■ 「①災害時にも代替路として利用できること」「②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること」「③熊本市・延岡市へ早く安全に行けること」「⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること」について8割以上が重視している。

【質問1】 対策案（ルート帯案）を検討する際に、重視すべき事項の重要性を5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価してください。



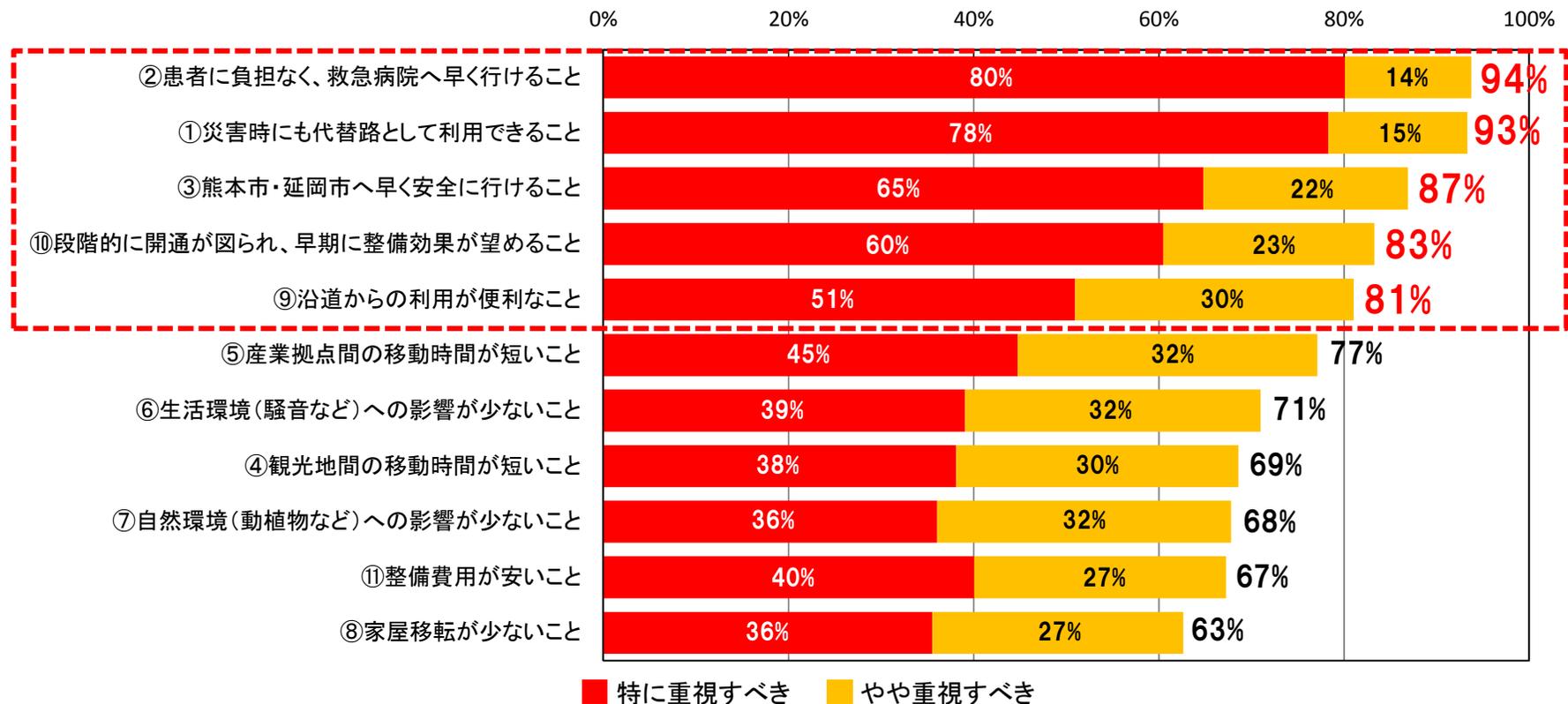
3-2. 第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）

- 「②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること」「①災害時にも代替路として利用できること」「③熊本市・延岡市へ早く安全に行けること」「⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること」や「⑨沿道からの利用が便利なこと」について8割以上が重視している。

【質問1】 対策案（ルート帯案）を検討する際に、重視すべき事項の重要性を5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価してください。

【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き） 8,166票】



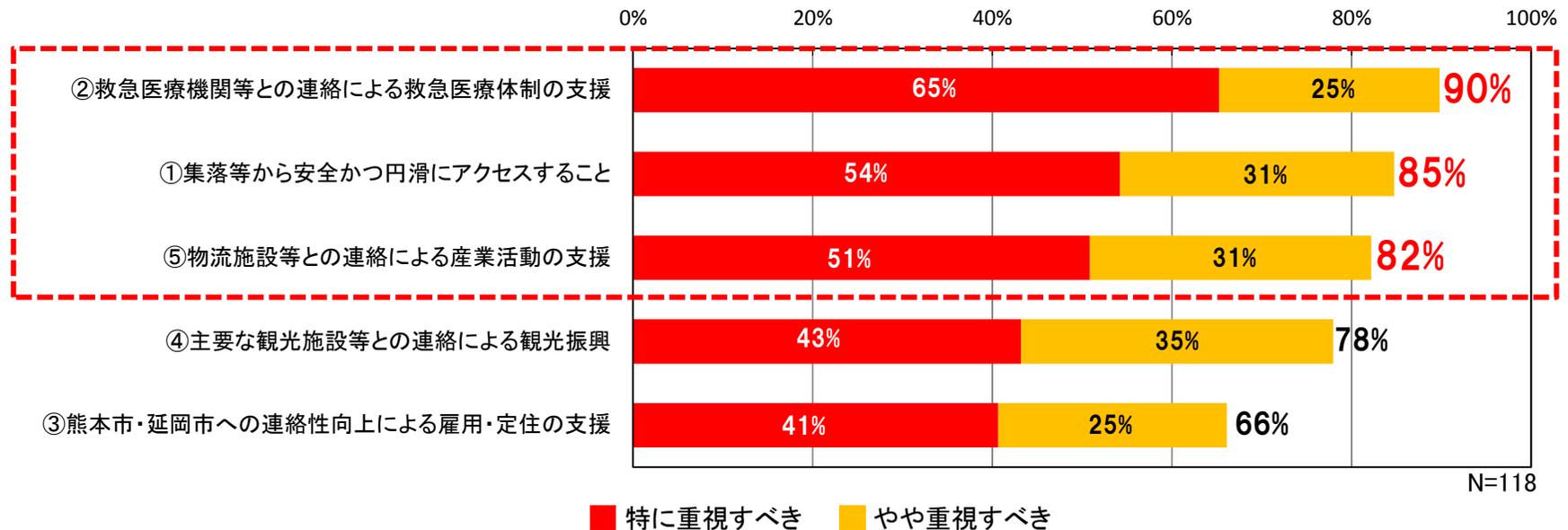
3-3. 第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

■ 団体・企業（ヒアリング）

- 「②救急医療機関等との連絡による救急医療体制の支援」「①集落等から安全かつ円滑にアクセスすること」「⑤物流施設等との連絡による産業活動の支援」について8割以上が重視している。

【質問2】インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項の重要性を5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価してください。

【団体・企業（ヒアリング） 118票】



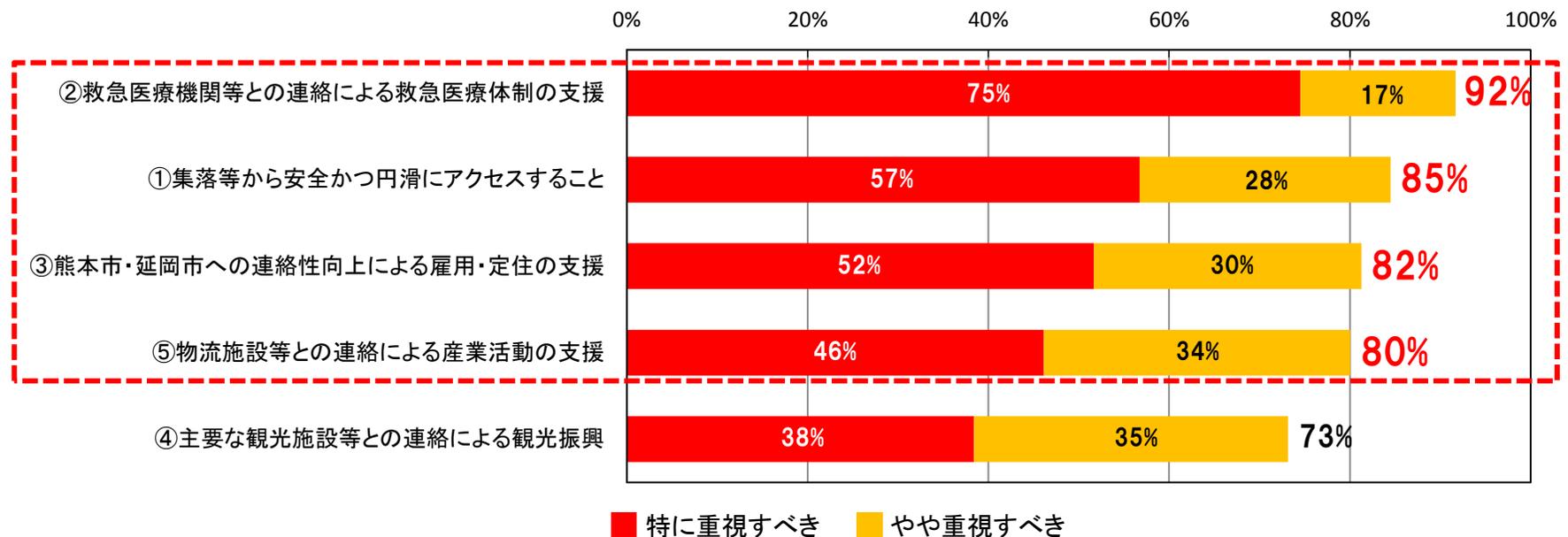
3-4. 第2回意見聴取の結果（インターチェンジに関すること）

■地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）

- 「②救急医療機関等との連絡による救急医療体制の支援」「①集落等から安全かつ円滑にアクセスすること」「③熊本市・延岡市への連絡性向上による雇用・定住の支援」や「⑤物流施設等との連絡による産業活動の支援」について8割以上が重視している。

【質問2】 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項の重要性を5段階（特に重視すべき・やや重視すべき・どちらでもない・あまり重視すべきでない・重視する必要なし）で評価してください。

【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き） 8,166票】



3-5. 第2回意見聴取の結果（ルート帯案/インターチェンジに関すること）

■自治体

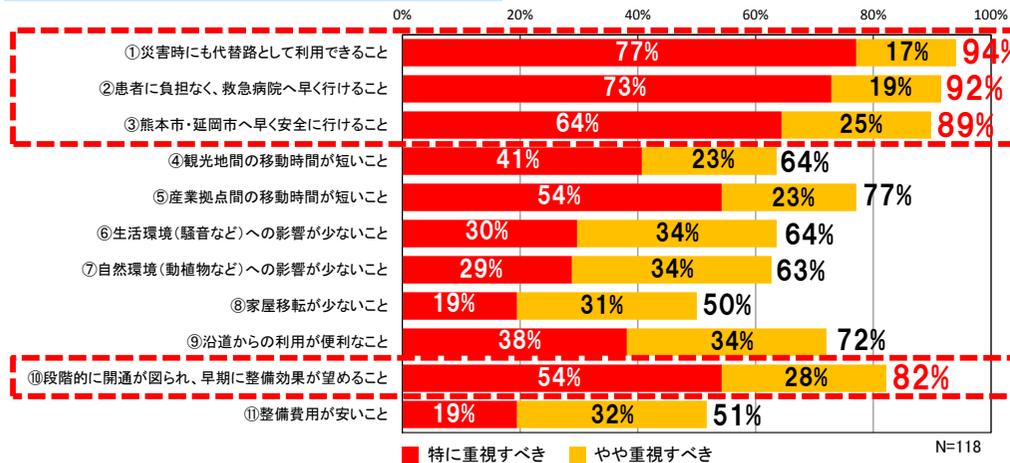
■自治体からは、「災害に強い道路」「医療施設への速達性」について重視する意見が寄せられた。

熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ・落石や崩落等の危険性が低く、九州横断軸の代替路機能など災害に負けない基盤づくりが必要。 ・当地域は医療施設への速達性確保が課題であり、地域内医療施設からインターチェンジへの高いアクセス性が必要。
宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ・国道218号は落石、崩土等による通行止めの可能性もあることや、早期啓開や応急車両などの通行には強靱で速達性の高い代替ルートの確保が必要。 ・災害時の沿線地域の孤立化や第3次救急医療施設までの移動時間短縮のためにも、沿線地域からのアクセスを重視したルート及びIC位置が望ましいと考えているため、南ルートの整備を望む。
山都町	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は線形不良箇所が多く、豪雨などにより法面が崩壊するなど周辺住民の生活に支障をきたすため、代替路として整備が必要。 ・蘇陽地域のインターチェンジ検討にあたっては、国道218号との接続も視野に入れ、矢部地域から阿蘇、高千穂地域へ向かう観光客の回遊性の考慮が必要。
五ヶ瀬町	<ul style="list-style-type: none"> ・九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）の将来の整備を見越して、五ヶ瀬町『道の駅』構想を策定する予定。 ・五ヶ瀬・高千穂・日之影・椎葉・諸塚の5町村は『県北フォレストピアモデル圏域』を形成していることもあり、今後も連携を強化していくために南ルートの整備を望む。
高千穂町	<ul style="list-style-type: none"> ・九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）は、福岡や熊本などの都市圏との移動時間短縮、アクセス性強化による観光回遊性や産業振興の強化が期待できる重要な路線と考えることから、南ルートの整備を望む。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国道218号の蘇陽から高千穂は、急カーブ、急勾配の箇所や防災点検箇所が多数存在するなど、防災面の課題が大きい道路であり、寸断されると代替ルートが存在しないためルート確保が必要。【熊本市】 ・南海トラフ地震に備え、熊本から自衛隊を派遣してもらうためにも、九州横断自動車道が必要。【延岡市】 ・南海トラフ地震を想定すると、熊本方面からの自衛隊派遣（災害救援活動）や緊急輸送に重要な道路整備を望む。【日向市】 ・災害発生時のリダンダンシー確保のためには、蘇陽～高千穂の道路整備が必要。【嘉島町】 ・現道と隣接しているよりも離れている方が災害には強くなるため、南ルートの整備を望む。【嘉島町】 ・九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）の整備は、企業誘致、物流、観光発展のために重要な路線。【甲佐町】

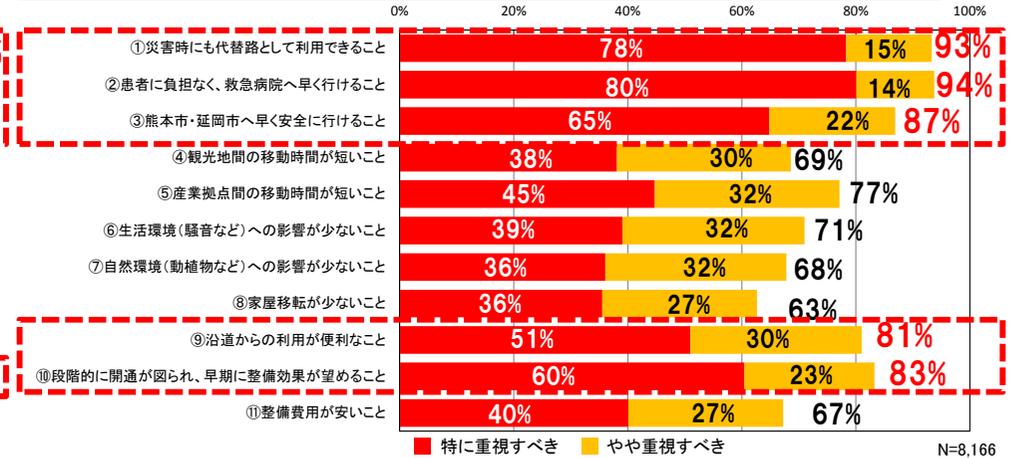
3-6. 第2回意見聴取の結果 <まとめ> (ルート帯案に関すること)

- 団体・企業及び地域住民への各種意見聴取では、「①災害時の代替路利用」「②医療施設への救急搬送」について重視している声が9割超えと最も多かった。
- つづいて「③熊本市・延岡市の連絡性」「⑩早期整備効果の発現」についての意見が約8割と多かった。
- 地域住民意見では、上記以外にも「⑨沿道からのアクセス性」について約8割と多い結果となった。
- 主な意見としては、「災害時の代替路機能の確保」「救急医療施設への速達性」についての意見が多く寄せられた。

【団体・企業（ヒアリング）】



【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）】



【団体・企業（ヒアリング）の主な意見】

災害時の代替路利用に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本地震を経験し、防災機能を重視した道のあり方を考えるようになった。 ・ 国道218号の通行止めの可能性や、早期啓開、応急車両などの通行には強靱で速達性の高い代替ルート確保が必須であり、集落の孤立解消のためにも南ルートの整備を望む。
医療施設への救急搬送に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延岡線が完成すれば時間短縮と安全性の向上が期待できる。 ・ 救急の観点から延岡線は「命の道」として重要だと思う。

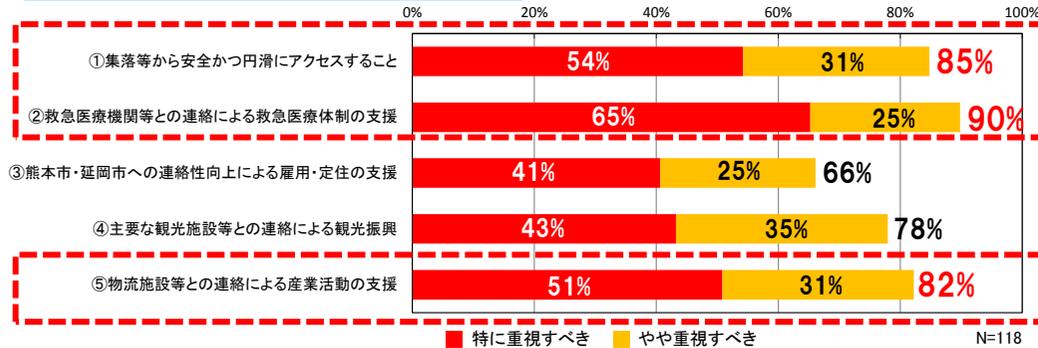
【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）の主な意見】

災害時の代替路利用に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路は災害復旧に大きな役割を果たすと思う。 ・ 災害時の移動や救急搬送の際には、移動時間、ルートが命に関わる極めて重要な課題と認識している。
医療施設への救急搬送に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域（集落）から都市部の医療施設への移動時間の短縮は第一だと考えていることから、南ルートの整備を望んでいる。 ・ 救急医療は熊本が主となるため、移動時間の短縮できる高速道路が必要だと思う。

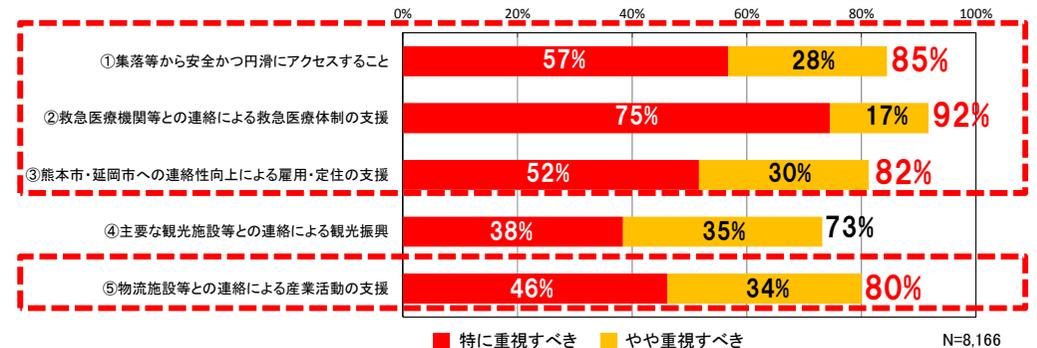
3-7. 第2回意見聴取の結果 <まとめ> (インターチェンジに関すること)

- 団体・企業及び地域住民への各種意見聴取では「②救急医療体制の支援」について重視している意見が9割超えと最も多かった。
- つづいて、「①集落等からのアクセス性」や「⑤物流施設等との連絡性」について重視している意見が約8割と多かった。
- 地域住民意見では、上記以外にも「③熊本市・延岡市への連絡性」について約8割と多い結果となった。
- 主な意見としては、「主要な集落および救急医療施設へのアクセス性や速達性」についての意見が多く寄せられた。

【団体・企業（ヒアリング）】



【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）】



【団体・企業（ヒアリング）の主な意見】

集落からのアクセス性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内には小さな集落が多くあるため、集落からインターチェンジまでのアクセス性が高めることで、利用率が上がると考える。 ・ インターチェンジは地域にとって一番アクセスしやすいところに作るべきと考える。
救急医療体制の支援に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ この辺りの病院では、救急患者は延岡市や熊本市内の別の病院へ直ちに移されるため、集落や地域の病院から救急病院へ早急に行ける南ルートの早期整備が望まれる。

【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）の主な意見】

集落からのアクセス性に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して生活するためには、集落へのアクセス性や利便性を最優先する必要があると考えていることから、南ルートの整備を望む。 ・ 集落から離れた場所では、そこまでの移動が大変である。インターチェンジは中心部に作って、生活圏から便利なものにして欲しい。
救急医療体制の支援に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターチェンジが集落の近くにあれば、医療体制も改善されると思う。 ・ 救急に関しては、病院や集落から利用しやすいインターチェンジにすべきである。 ・ 当地域は広域消防であるため、救急車両の移動経路、時間などを考慮すると、インターチェンジからのアクセス性を重視したルートとして欲しい。



4. 対応方針(案)の検討

4-1. 対応方針(案)の検討 <複数案の比較>

【案A】別線整備案（南ルート）・・・集落へのアクセス性と高速性、定時性を確保した案

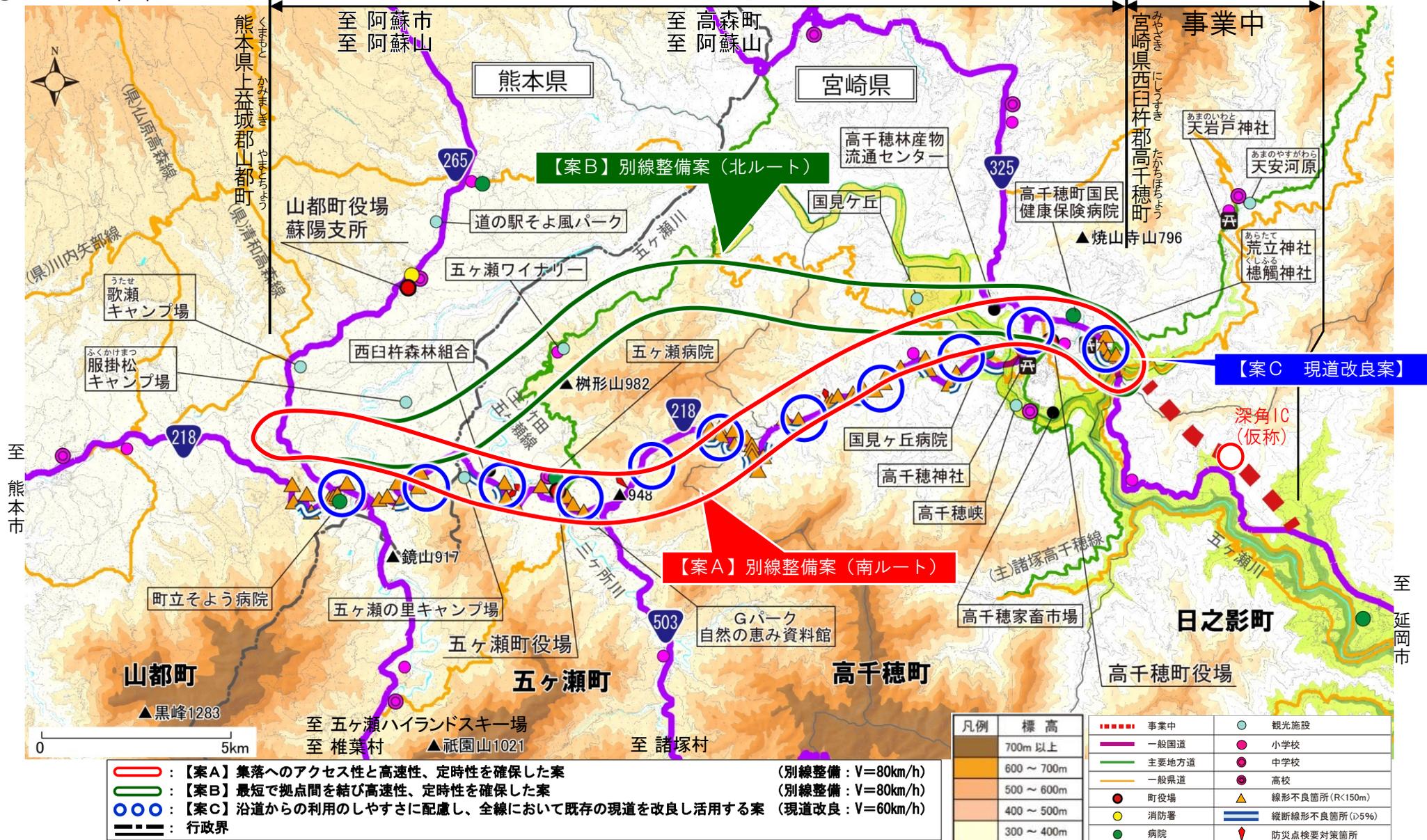
【案B】別線整備案（北ルート）・・・最短で拠点間を結び高速性、定時性を確保した案

【案C】現道改良案・・・沿道からの利用のしやすさに配慮し、全線において既存の現道を改良し活用する案

○ルート帯案

対象区間（蘇陽～高千穂間）

高千穂日之影道路



4-2. 対応方針(案)の検討 <複数案の比較>

■比較評価の結果、重要視されている全ての政策目標の達成が見込め、他案よりも総合的に優れていることから、ルート帯案については、【案A】別線整備案(南ルート)を対応方針(案)とする。

評価項目		【案A】別線整備案(南ルート)	【案B】別線整備案(北ルート)	【案C】現道改良案	
ルートの趣旨		集落へのアクセス性と 高速性、定時性を確保したルート	最短で拠点間を結び 高速性、定時性を確保したルート	沿道からの利用のしやすさに配慮し、全線において 既存の現道を改良し活用するルート	
指標 (下記の①はアンケート設問番号を示す)		延長 約22km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約21km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約26km 一般道路タイプ(設計速度:60km/h)	
政策 目 標	防災 ①	災害時の代替路機能 ○・別線整備により代替路が確保される	○・別線整備により代替路が確保される	×・現道利用のため代替路が確保されない	
	医療 ②	熊本市・延岡市の第3次医療施設までの搬送時間 ○・熊本や延岡の救急医療施設までの搬送時間の短縮が見込まれる	△・熊本や延岡の救急医療施設までの搬送時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	△・熊本や延岡の救急医療施設までの搬送時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	
		熊本市・延岡市の第3次医療施設までの走行性 ○・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性が向上し、患者への負担軽減が見込まれる	○・現道の線形不良箇所を回避するため、走行性が向上し、患者への負担軽減が見込まれる	△・現道の線形不良箇所を改良するため、走行性が向上し、患者への負担軽減が見込まれるが、交差点が存在するため案A、案Bより小さい	
	雇用・定住 ③	生活拠点から熊本市・延岡市への市街地までの移動時間 ○・生活拠点から市街地までの移動時間の短縮が見込まれる	△・生活拠点から市街地までの移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	△・生活拠点から市街地までの移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	
		生活拠点から熊本市・延岡市への市街地までの安全性 ○・現道の線形不良箇所や防災点検要対策箇所を回避するため、走行性、安全性向上が見込まれる	○・現道の線形不良箇所や防災点検要対策箇所を回避するため、走行性、安全性向上が見込まれる	△・現道の線形不良箇所や防災点検要対策箇所を改良するため、走行性、安全性向上が見込まれるが、交差点が存在するため案A、案Bより小さい	
	観光 ④	観光地間の移動時間 阿蘇→高千穂 高千穂→五ヶ瀬ワイナリー 五ヶ瀬ワイナリー→通潤橋 △・阿蘇～高千穂～五ヶ瀬間の移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Bより小さい	○・阿蘇～高千穂～五ヶ瀬間の移動時間の短縮が見込まれる	△・阿蘇～高千穂～五ヶ瀬間の移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Bより小さい	
		産業 ⑤	産業拠点間の走行性 ○・現道の線形不良箇所などを回避するため、走行性の向上が見込まれる	○・現道の線形不良箇所などを回避するため、走行性の向上が見込まれる	△・現道の線形不良箇所などを改良するため、走行性の向上が見込まれるが、交差点が存在するため案A、案Bより小さい
	産業拠点間の移動時間 ○・熊本や延岡の産業拠点までの移動時間の短縮が見込まれる		△・熊本や延岡の産業拠点までの移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	△・熊本や延岡の産業拠点までの移動時間の短縮が見込まれるが、短縮時間は案Aより小さい	
	道路 整備 による 影響	生活環境 ⑥	大気質・騒音等 △・集落・市街地に近接した箇所を一部通過するため、案Bより生活環境に影響を与える可能性が大きい	○・集落・市街地を概ね回避するため、生活環境に影響を与える可能性は小さい	×・集落・市街地に近接・通過するため、案Aより生活環境に影響を与える可能性が大きい
		自然環境 ⑦	動物の生息地や植物の生育地等 △・動植物の生息地付近を一部通過するため、案Cに比べて影響を与える可能性がある	△・動植物の生息地付近を一部通過するため、案Cに比べて影響を与える可能性がある	○・動植物の生息地付近を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい
⑧		移転が必要となる家屋等の数 △・集落・市街地に近接した箇所を一部通過するため、案Bより影響が大きい	○・集落・市街地を概ね回避するため、影響は小さい	×・集落・市街地に近接・通過するため、案Aより影響が大きい	
⑨		沿道からの利用 △・インターチェンジ限定のため、案Cよりアクセス性は低い、主要集落を通過するため案Bよりは高い	×・インターチェンジ限定であり、かつ主要な集落からも離れているため、アクセス性は最も低い	○・一般道路のためどこからでもアクセス可能	
⑩		発現の時期 △・インターチェンジ間の部分開通は可能	△・インターチェンジ間の部分開通は可能	○・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込める	
⑪		整備に要する費用 △ 約900～950億円	× 約950～1,000億円	○ 約800～850億円	

※比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。

(○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べ劣る)

意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目
他の案に比較し優位

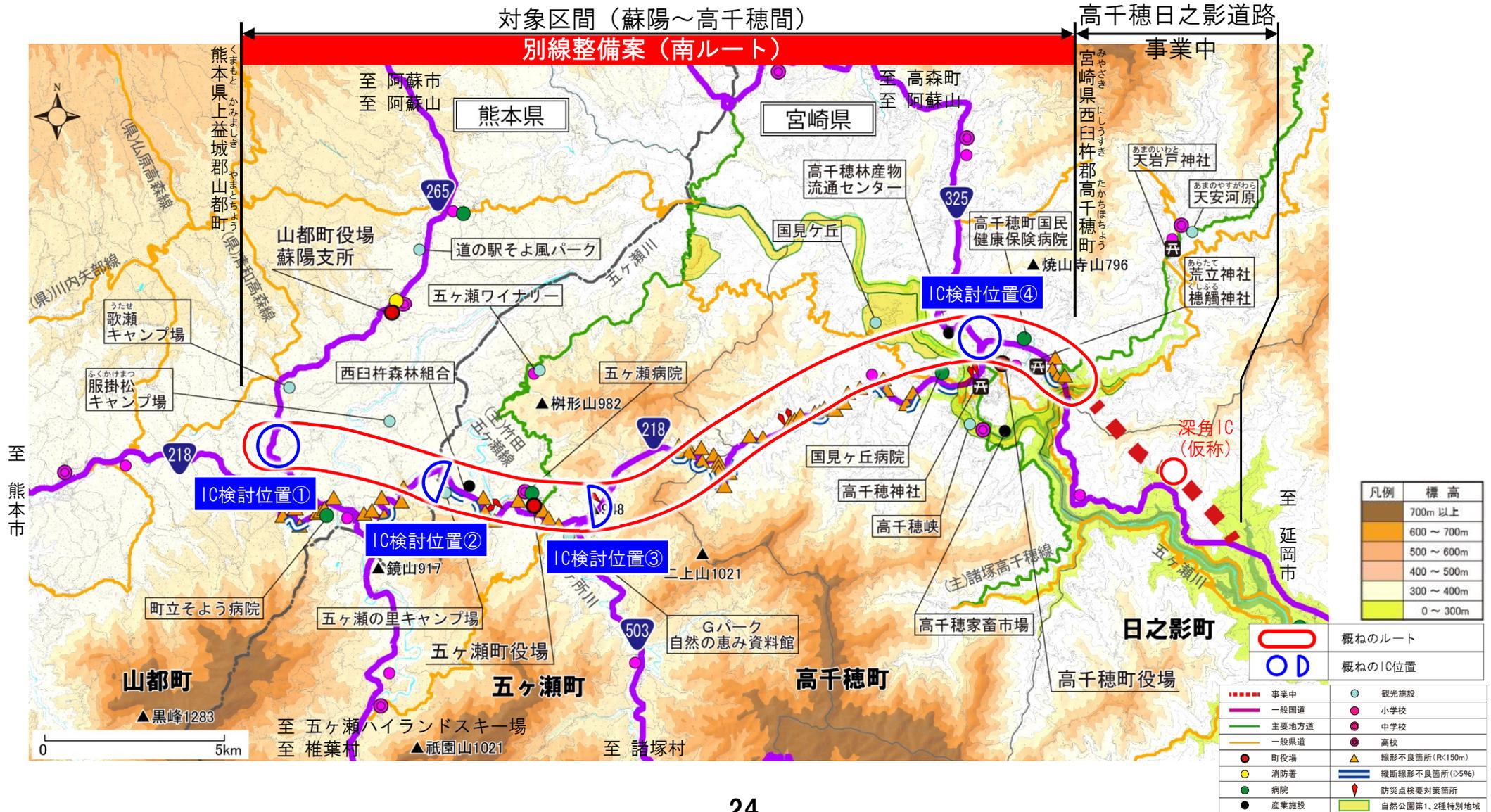
4-4. 対応方針(案)の検討 <ルート帯案・インターチェンジの位置>

【ルート帯案の考え方】

- 災害時における代替路機能の確保と線形不良箇所、防災点検要対策箇所等の回避による第3次救急医療施設への走行性、速達性及び安全性や熊本市、延岡市への高速性、定時性を確保したルート

【インターチェンジの位置の考え方】

- 地域の意見を踏まえて、主要な集落へのアクセス性及び地域医療施設や物流施設との連絡性などの機能を確保





5. 自治体への意見照会

5-1. 自治体への意見照会 <対応方針(案)に対する自治体意見>

■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
熊本県	<p>1 九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。</p> <p>2 「熊本地震」を経験した本県として、九州横断自動車道延岡線は、観光、救急医療等の多大なストック効果に加えて、南海トラフ地震等への備えとして期待しており、ミッシングリンクの早期解消のため、切れ目ない事業展開をお願いします。</p> <p>3 本区間の事業化に向けては、本県内の供用・事業中区間と一体となりストック効果がさらに発現されるよう、早期実施に特段の御配慮をお願いします。併せて、I Cの検討においては、東西の円滑な交通アクセスのために、国道218号との接続についても御配慮をお願いします。</p> <p>4 事業の実施に向けては、本区間沿線の豊かな自然環境及び地域の生活環境への影響をできる限り回避・低減していただきますようお願いいたします。</p>
宮崎県	<p>九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）における九州地方整備局としての対応方針（素案）に同意します。</p> <p>九州の東西軸を構成する当該道路は、南海トラフ巨大地震等の災害時の緊急輸送ルートの確保や救急医療への対応はもとより、沿線の阿蘇くじゅう、高千穂などの広域観光等を通じ九州の一体的な浮揚にも繋がる大変重要な道路であります。また、拡大が続く沿線地域の木材産業などの地場産業の振興や企業立地にも寄与し、定住促進など地方創生のためにも不可欠な道路であります。</p> <p>県といたしましても、当該道路の整備効果が広範囲に波及するよう国と連携しアクセス道路の整備を行うとともに、ストック効果を最大限に発揮させる取組等に努めて参りますので、一日も早い事業化について特段の御配慮をお願いします。</p>

5-2. 自治体への意見照会 <対応方針(案)に対する自治体意見>

■意見照会の回答(熊本県知事・宮崎県知事)

道整第305号
平成30年2月15日

国土交通省
九州地方整備局長 増田 博行 様

熊本県知事 蒲島 郁夫



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成30年2月14日付け国九整道一計第31号で照会のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 「熊本地震」を経験した本県として、九州横断自動車道延岡線は、観光、救急医療等の多大なストック効果に加えて、南海トラフ地震等への備えとして期待しており、ミッシングリンクの早期解消のため、切れ目ない事業展開をお願いします。
- 3 本区間の事業化に向けては、本県内の供用・事業中区間と一体となりストック効果がさらに発現されるよう、早期実施に特段の御配慮をお願いします。併せて、ICの検討においては、東西の円滑な交通アクセスのために、国道218号との接続についても御配慮をお願いします。
- 4 事業の実施に向けては、本区間沿線の豊かな自然環境及び地域の生活環境への影響をできる限り回避・低減していただきますようお願いいたします。

以上

293-1039
平成30年2月15日

国土交通省 九州地方整備局長 殿

宮崎県知事 河野 俊嗣



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成30年2月14日付け国九整道一計第31号の意見照会について、下記のとおり回答します。

記

九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。

九州の東西軸を構成する当該道路は、南海トラフ巨大地震等の災害時の緊急輸送ルートの確保や救急医療への対応はもとより、沿線の阿蘇くじゅう、高千穂などの広域観光等を通じ九州の一体的な浮揚にも繋がる大変重要な道路であります。また、拡大が続く沿線地域の木材産業などの地場産業の振興や企業立地にも寄与し、定住促進など地方創生のためにも不可欠な道路であります。

県といたしましても、当該道路の整備効果が広範囲に波及するよう国と連携しアクセス道路の整備を行うとともに、ストック効果を最大限に発揮させる取組等に努めて参りますので、一日も早い事業化について特段の御配慮をお願いします。

(文書取扱 高速道対策局)

連絡先：宮崎県県土整備部高速道対策局
TEL 0985-26-7200



6. 対応方針(案)まとめ

6-1. 対応方針(案)まとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を**実現できる道路整備を検討**

【政策目標】

- ◇災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保
- ◇熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上
- ◇熊本市・延岡市への移動の速達性・安全性の向上による雇用・定住の促進
- ◇歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援
- ◇走行性、速達性向上による産業活動の支援

- 対象地域は、国道218号の災害等による通行止めや移動の速達性・走行性が課題であり、災害時の代替路機能確保や救急医療施設、都市部への速達性・走行性が確保される道路の整備が必要。
- 住民アンケートや企業ヒアリングにおいても、災害時の代替路機能の確保、救急医療施設・都市部への速達性の高い道路が必要という意見が多く、このような政策目標を早期に実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針(案)

(1) ルート帯について

『**【案A】別線整備案(南ルート)**』を**対応方針(案)**とする。

【理由】

- 団体・企業および地域住民に対する各意見聴取において、「①災害時にも代替路として利用できること」「②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること」が最も重要視されており、つづいて「③熊本市、延岡市へ早く安全に行けること」「⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること」の項目について重視する声が多かった。
- 地域住民意見では、上記に併せて「⑨沿道からの利用が便利なこと」の項目についても重視する声が多かった。
- 自治体からは、災害時における代替ルートの確保や医療施設への速達性の意見が多く、その他、観光振興や地域活性化の視点からもルート設定を望む意見があった。
- 比較評価の結果、全ての政策目標の達成が見込め、他案よりも総合的に優れている。

(2) インターチェンジについて

主要な集落にアクセスしやすく、地域医療施設や物流施設との連絡性に配慮した計画とする。

【理由】

- 各意見聴取において、集落へのアクセス性、救急医療施設や物流施設への連絡性について重視する計画を望む声が多く寄せられた。

3. その他(配慮すべき事項等)

- 重要な植物群落や住居、重要な施設等が存在する区間については、詳細なルート・構造を検討する段階において配慮が必要。
- 具体の道路構造等の検討に際しては、家屋や生活・自然環境、景観への影響をできる限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。

